

名玉

1975



市 章

玉名の片カナ頭文字タを円型に
図案化したもので、中央剣尖は向
上発展を意味づけたものです。



発刊のことば

この度、市制二十周年を記念して、玉名市市勢要覧を発行することになりました。

顧みますと二十年前、田園都市として発足いたしました玉名市でございましたが、日に日に変化する社会の流れと歩を同じくして、行政、経済もきわめて流動的で、すべてが多様化され、広域化が要求されてまいりました。

こうした社会経済の急速な発展は、地方自治体に対し、人間尊重を基調とした環境整備が要求され、これらの要求を実現するために道路網の整備、都市計画の推進、公共下水道の促進、運動公園建設の早期実現などが現在すすめられています。

市制二十周年、成人の年を迎えた玉名市の現状をこの要覧によってご理解して戴き、ご指導下さいますようお願い申し上げご挨拶といたします。

玉名市長 橋本二郎



An aerial photograph showing a city nestled between a river and a large body of water. A bridge crosses the river, and a railway line runs through the foreground. The surrounding area is a mix of urban development and green fields.

●澄んだ空気と水と緑あふ
れる都市

●豊かな生活 住みよい都市

●有明地域の中心都市

これは、玉名市の未来像
をえがく三つの柱です

沿革

玉名の歴史は古く縄文時代から天恵の地として知られ、弥生時代になるとはやくも大陸と交流をもち、下って古墳時代には、華麗な副葬品と共に、日本最古の漢字が彫まれてある銀象眼の太刀で有名な舟山古墳をはじめ、船型石棺（院塚古墳）や装飾古墳（ナギノ横穴群）を多数のこし、考古学上貴重な遺跡が豊富である。その後、当地方を玉杵名と呼び正野長者の日置氏、菊池氏、大野氏の荘園として産業が興り社寺等を造営し、この地方の中心としての基礎づくりができた。当時、高瀬、伊倉の港は一時倭寇の根拠地ともなり、中国大陸や南方向けの貿易港として栄え切支丹もひろがった。

戦国時代は、諸大名争奪の地となり焼土と化したのが、加藤清正公入国して治水と干拓に力をいれ、広大な新田ををえて当地方は穀倉地帯として人口も増加した。細川54万石の統治下になると肥後の要衝の地として5カ町の一つにかぞえられ文化、経済、商業の中心地として殷賑を極めた。明治10年の西南の役には、戦場の最北端として官軍の本営がおかれ、熾仁親王もとどまれ附近に多くの有名な戦跡が残っている。

明治以後は、経済面の開拓が著るしく干拓による米の生産、養蚕業の振興、鉄道の開通とともにしだいに発展してきた。

昭和17年高瀬町と弥富村が合併して玉名町となり、昭和29年4月、玉名町、伊倉町、大浜町、築山村、滑石村、豊水村、八嘉村、梅林村、小田村、玉名村、月瀬村、石貫村の12カ町村の合併により市制が施行され、昭和31年南関町の一部三ッ川地区が玉名市に編入された。

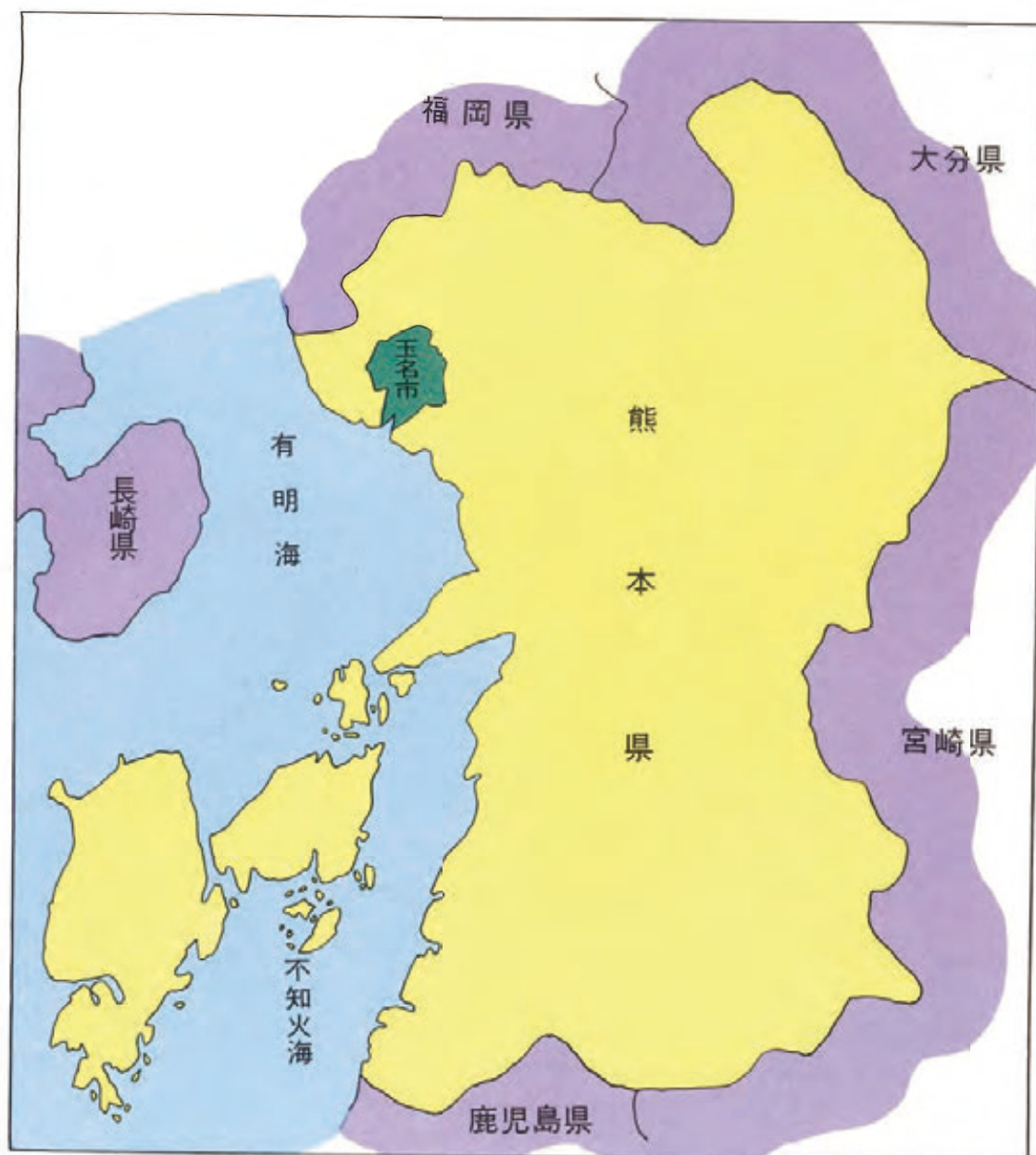
昭和45年、2市8町を包含した有明広域市町村圏の指定をうけ、広域行政が始められ道路網の整備、消防組合の設立、コンピュータの導入など中心都市としての発展が期待されている。

日立造船の進出に伴う関連産業の進出など、工業都市としても大きく変ろうとしている。

地勢と位置

玉名市は熊本県の北部に位置し、面積88.85km²である。

熊本市と大牟田市の間にあり、清流菊池川をはさんで市街を形成し、南は有明海に面し、市域は東西10.5km、南北14kmに亘る。北部の県立公園小岱山の丘陵地帯と南部の海岸線の間、玉名平野と称される肥沃な穀倉地帯がひろがり、物資供給の要衝に当っており、市の北部には1,200余年の歴史と泉質の優秀さを誇る玉名温泉があり、交通網が発達して県北部の枢要の地にある。



位 置

極 東	極 西	極 南	極 北
東経 130° 37' 39"	東経 130° 30' 56"	北緯 32° 51' 43"	北緯 32° 59' 18"
奥野地区	築地南部	大浜町末広	三ッ川石尾

面 積 88.85平方キロメートル
東 西 10.5キロメートル
南 北 14.0キロメートル

郷土の誇り……………名誉市民



故 新穂登免

明治5年熊本市坪井町、内藤仙太氏の次女として生れ、熊本尚綱女学校裁縫科を卒業、その後、熊本高等小学校教諭、引続き25年間教壇生活を送り、子女の裁縫教育に尽し、大正14年白梅学園玉名女子高等学校の前身である、高瀬女学院（玉名家政高等学校）を創設し、昭和32年まで、32年間同学園の理事長と校長を兼ね、その後理事長兼名誉校長として玉名地方の子女教育に大きく貢献し昭和46年1月13日98才で没



金栗四三

明治24年熊本県玉名郡旧春富村の金栗信彦氏の四男として生れ、のち東京高師を卒業、第5回オリンピック ストックホルム大会に日本初の選手として出場、つづいて第7回アントワープ、第8回パリ大会と出場、その後も後輩の指導に専念し、日本マラソン界の父と仰がれる。現在も日本陸上競技連盟顧問、日本マラソン連盟会長として、マラソン選手の強化指導に尽している。

昭和30年 紫綬褒章 朝日文化章受賞

昭和39年 勲4等旭日章受賞

市民憲章

わたくしたち玉名市民は、市制二十周年を迎え、ますます市民の幸福と繁栄をねがい、ここに市民の総意をこめ、実践をめざして、この市民憲章をさだめます。

一、わたくしたち 玉名市民は

澄んだ空気ときれいな水と 緑あふれる

恵まれた郷土 玉名市の自然をたいせつにします

一、わたくしたち 玉名市民は

古い歴史をたたえ 若い力を育て

文化のかおる郷土 玉名市をつくります

一、わたくしたち 玉名市民は

仕事によるこびをもち 生産を高め

豊かな郷土 玉名市をつくります

一、わたくしたち 玉名市民は

きまりを守り あたたかい心で人に接し

住みよい郷土 玉名市をつくります

一、わたくしたち 玉名市民は

教育を重んじ 教養を高め 視野を広くし

伸びゆく郷土 玉名市をつくります



澄んだ空と水、緑あふれるまち





自然にはぐくまれて



青い空をキャンパスに緑濃い山々が三方に稜線をえがき、清流、菊池川が緑ゆたかな平野をうるおし、西の有明海は明るい藍色に映えています。

この恵まれた自然の中で、私たちは未来に向って力強い歩みをつづけています。







私たちのまち



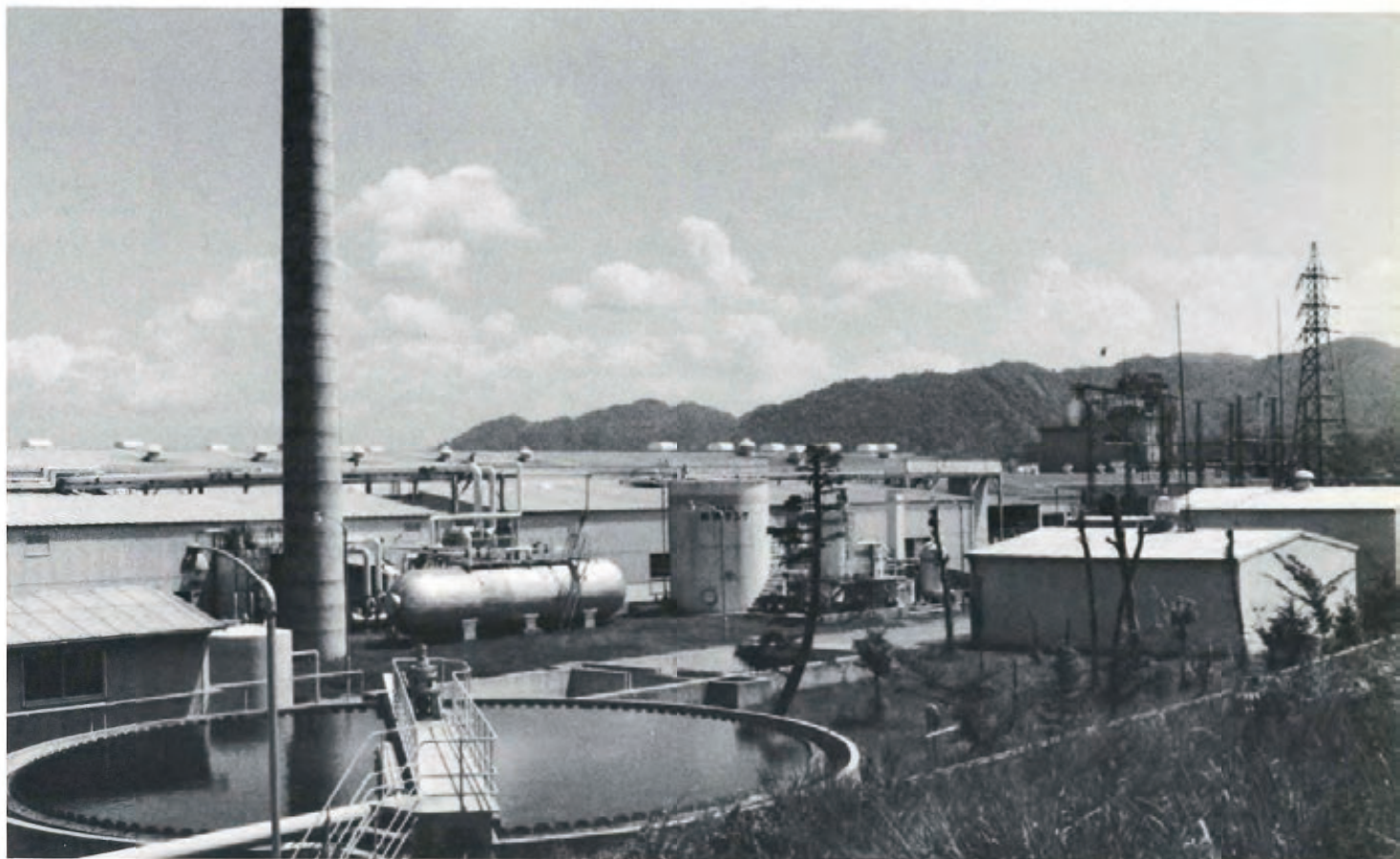
豊かな自然と人情にはぐくまれ、古くから政治、経済、文化の中心地として栄えてきました。

まちは年毎に各種の事業がすすめられ、商店街も大型化し、楽しいショッピングのまちとして市民に親しまれています。

また有明臨海工業地帯を近くにひかえ、農業および、公害のない工業と、温泉を中心とする観光のまちづくりがすすめられています。







豊かな生活 住みよいまち

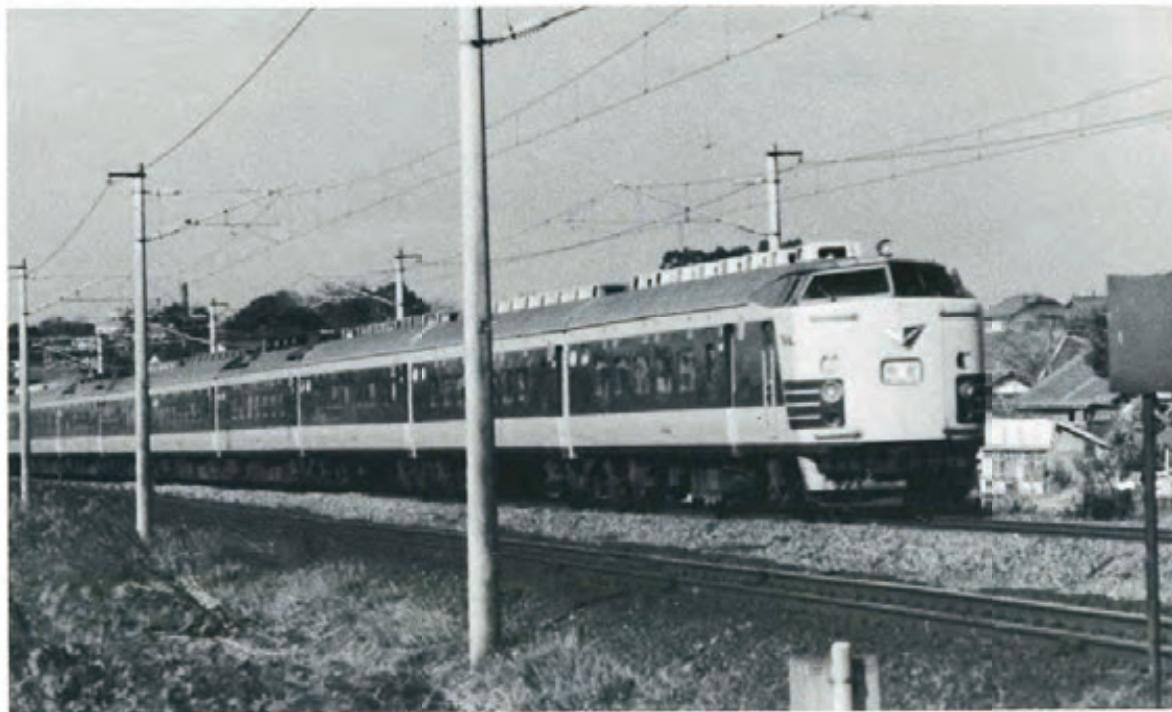




広がる行動圏

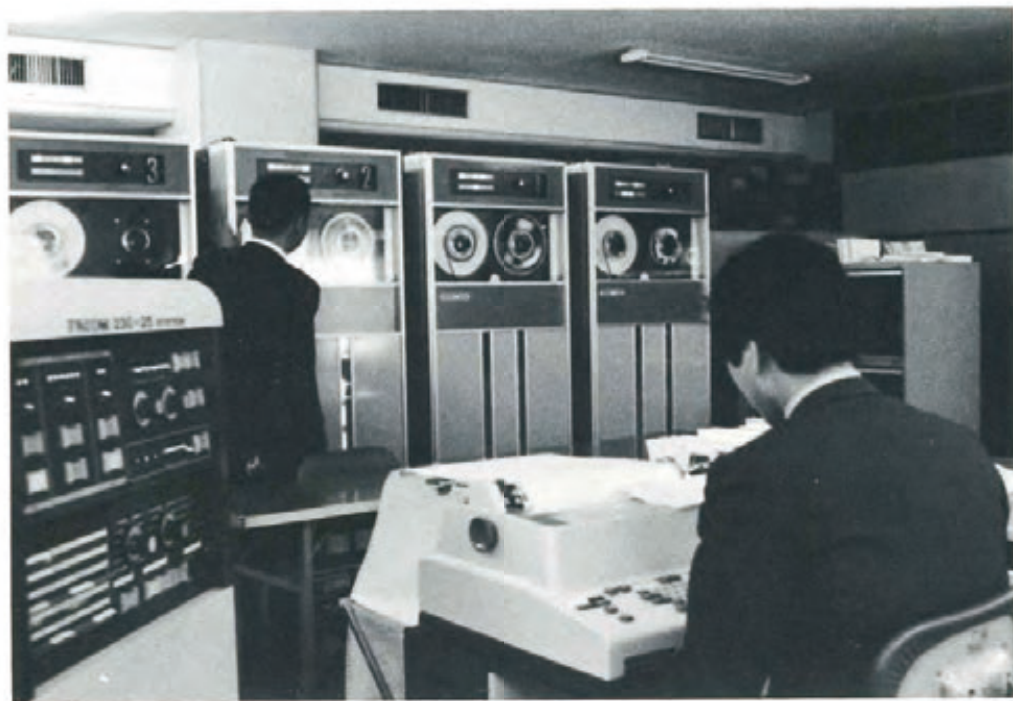
道路網、交通機関の発達により、私たちの行動範囲は日1日と広がっています。

玉名市は、南北九州をつなぐ連結環として、人々の交流は多くなり物資輸送の拠点としてますます発展するでしょう。





近代化される情報網



くらしの守り

私たちの安全を見守っている人たちがいます。

私たちが知らない間も町のどこかで活動しています。

この人たちの努力によって、私たちは安らかな日々を送ることができます。







豊かなみのり

有明海には海苔ひびが張られ、寒風の中で働く人々によって香り高い海苔がつくられています。

農業は近代化され、経営も米作りだけでなく、酪農や養鰻も盛んで、山には黄金色にみかんが色づき、平野にはビニールハウスが湖のようにキラキラと輝いています。





住みよい街に



新しいまちづくりのツチ音がひびき、私たちをとり
まく環境が整備されていく。

私たちの住よいまちをつくるために。









ゆたかな水を

今日も豊かな流れをみせる菊池川の水は、私たちの生活をうるおし、多くの産業にひろく利用されています。





健康で明るい生活





みんなすこやかに



健康にささえられた明るいくらし、健康であることの喜びは何ものにもかえがたいものです。

明るい市民生活を願って住民健康診断、老人医療の無料化などがすすめられています。







ゆたかな心を

私たちは生涯・日1日何かを学ぶ。各種の学習やスポーツを通じて、高い知識と豊かな心を培おうとそれぞれ努力しています。







玉名市民合唱団







いで湯と史跡



玉名温泉



三井グリーンランド

1200年前正野長者によって発見されたとはいえられる玉名温泉を中心に、県立公園小岱山、散策に最適の蛇ヶ谷公園、古代文化を物語る、装飾古墳や横穴群の他明治10年西南戦役の古戦場田原坂、など史跡にとんでいます。

別府～阿蘇～雲仙を結ぶ国際観光ルートの中継宿泊地として、全国各地からの観光客を迎えています。



夏の別天地 菊池溪谷



古戦場 田原坂公園









みんなの声を

「市長の座を市民の中に」をモットーに市政懇談会、市政報告会
各種座談会など、皆んなでひざつきあわせ、話し合い、力を合わせて
新しい玉名市づくりにとりくんでいます。





三役会議 収入役 木下信行 市長 橋本二郎 助役 汐持正徳



議長 田川正義



副議長 天木利彦



資料編

資料編目次

玉名市のあゆみ	1
位置・気象・面積	3
人 口	4
行 財 政	5
民 生	9
産 業 経 済	11
運 輸 通 信	14
建 設	15
上 水 道	16
教 育	17
公 安 ・ 消 防	20
市 民 生 活	21
市内主要官公庁	23

凡 例

1. 表示単位はメートル法に統一した。
2. 数字の単位未満は四捨五入することを原則とした。したがって合計の数字と内訳の計とが一致しない場合もある。
3. 符号の用法はつぎのとおりである。
 - 0 表章単位に満たないもの
 - 該当数字がないもの
 - X 統計法に基づき発表をさしひかえたもの
 - △ 減少

玉名市のあゆみ

西 歴	年 号	摘 要
840	承和 7	疋野神社建立（肥後唯一の式の内社）
1589	天正17	加藤清正、第一期菊池川干拓工事始める
1592	20	加藤清正全軍1万を率い高瀬港より朝鮮遠征（壹岐）へ出帆
1605	慶長10	菊池川干拓工事完成
1874	明治 6	船山古墳発掘（国立博物館奉納）
1875	7	大浜海岸にて、海苔の海面試験養殖始める
1878	10	第9国立銀行高瀬出張所「為替方」できる
〃	〃	西南の役、戦場最北端の官軍本営がおかれ、熾仁親王とどまる
1879	11	玉名郡役所（郡長）設置（7町165村生まれる）
1889	22	市町村制の実施、玉名郡42町村人口 123,742人 郡役所高瀬町におかれる
1891	24	鹿児島本線開通
1903	36	熊本県立熊本中学校玉名分校 開校（明治39年熊本県立玉名中学校となる）
1911	44	電話一般開通開始
1912	45	金栗四三氏、第5回国際オリンピック参加
〃	〃	熊本県玉名郡立実科高等女学校設置（大正12年熊本県立高等女学校と改称）
1914	大正 3	弥富村他4町村に始めて電灯つく
1922	11	旧高瀬大橋完成、県下最長の鉄筋コンクリート橋、長さ320M巾5.6M
1923	12	乗合自動車開通（高瀬一府本間、府本一長洲間）
1925	14	火力発電所 運転開始（昭和30年閉鎖）
〃	〃	新穂登免氏高瀬町に私立玉名実践女学院開設
1937	昭和12	県立玉名中学校（現玉名高校）鉄筋3階建「白亜の殿堂」完成
1942	17	高瀬町、弥富村合併、玉名町となる。人口10,251人、世帯数 2,053戸
1945	20	大浜町飛行場建設
1946	21	凸版印刷九州工場設立
1948	23	玉名中学校、高瀬高等女学校合併熊本県立玉名高等学校となる

西 歴	年 号	摘 要
1948	昭和23	旧制玉中を第1部、旧制高瀬高女を第2部、旧町村組合立玉名農業学校を第3部とする別学制総合高等学校となる
1952	27	農業科独立し、熊本県立玉名農業高等学校となる
1953	28	集中豪雨による水害発生（6.26災害）
1954	29	玉名市誕生、旧玉名町、伊倉町、大浜町、築山村、滑石村、豊水村、八嘉村、梅杯村、小田村、玉名村、月瀬村、石貫村の12ヶ町村合併、初代市長、橋本二郎 人口46,569人、世帯数8,955戸（29.4.こ）
〃	〃	玉名市他4ヶ町村 組合立済春病院落成
〃	〃	玉名市消防本部設置
1955	30	塵芥焼却場完成、県果樹指導所落成
1956	31	三ツ川地区玉名市編入
〃	〃	高瀬駅を玉名駅と改称、静光園開設
1957	32	第12回県民体育祭開催、上水道工事着工
〃	〃	集中豪雨による水害発生（7.26災害）
1958	33	玉名大橋完成 有線放送開始
1959	34	玉名警察庁舎落成 上水道工事完成
〃	〃	国道208号（産業道路）開通 市庁舎落成
1960	35	高瀬大橋完成
〃	〃	第15回国体軟式庭球、レスリング会場、両陛下御来臨
1960	35	玉名駅舎落成 蛇ヶ谷児童遊園地開園
1961	36	玉名平野土地改良区設立
〃	〃	玉名電報電話局自動局舎落成（昭和37年より全自動化）
1962	37	玉名市農業協同組合発足（11農協合併）
〃	〃	金栗四三 新穂登免両氏名誉市民に推さる
1963	38	新産都市指定
〃	〃	市消防署発足
1964	39	し尿処理場完成 上小田区画整理事業完成
〃	〃	市営温泉センター落成
〃	〃	白石堰完成 税務署庁舎落成
1965	40	日米親善レスリング大会開催
〃	〃	鹿児島本線電化開通 商工会議所落成

西 歴	年 号	摘 要
1966	昭和41	有線放送電話開通（全自動ダイヤル式）
1967	42	玉名市民会館落成 菊池川一級河川指定
〃	〃	新国道208号線（高瀬大橋―田崎間）全面舗装開通
1968	43	鹿児島本線複線開通（熊本―荒尾間）
〃	〃	玉名市農協選果場完成 蛇ヶ谷運動公園建設開始
1969	44	九州三永金属工業KK工場誘致
〃	〃	日信小松陶器KK工場誘致
〃	〃	熊本BSゴムKK工場誘致
〃	〃	農村青年研修館完成
1970	45	玉名市「老人憩の家」完成
〃	〃	有明広域市町村圏指定
〃	〃	錦橋完成
〃	〃	玉名市交通指導隊発足
〃	〃	交通公園開設
〃	〃	玉名町スポーツクラブ誕生
〃	〃	有明市町村圏協議会発足
〃	〃	一本松団地着工
〃	〃	滑石小学校校舎改築着工
1971	46	救急車「白はと号」配置
〃	〃	小岱山保全林事業始まる
〃	〃	梅林小屋内体育館完成
〃	〃	第三期上水道拡張工事着工
〃	〃	巡回文庫誕生
〃	〃	緊急処理係設置
〃	〃	ノーカーデー実施
1972	47	養蚕団地起工
〃	〃	「記念樹の森」誕生
〃	〃	有明消防組合発足
〃	〃	玉名中学校校舎建築着工
〃	〃	伊倉小学校に交通公園設置
〃	〃	京都写真型KK KK 玉名サンスーツ進出
1973	48	上水道第三期拡張工事完成
〃	〃	公共下水道工事着工
〃	〃	機構改革により部制を実施

西 歴	年 号	摘 要
1973	昭和48	糠峯団地起工
〃	〃	第15回熊本県総合青年祭開催
〃	〃	公害対策班発足
〃	〃	玉名漁港改修事業起工
1974	49	老人ホーム移転
〃	〃	福祉センター建設 老人福祉センター建設
〃	〃	玉名農高グラウンドにナイター施設完成
〃	〃	八嘉小学校校舎改築
〃	〃	玉名町小学校校舎改築

位置・気象・面積

位 置

極 東	極 西	極 南	極 北
東経 130°37'39"	東経 130°30'56"	北緯 32°51'43"	北緯 32°59'18"
奥 野 地 区	築 地 南 部	大 浜 町 未 広	三 ツ 川 石 尾

気 象 概 況

	気 温 (℃)			降 水 量 (mm)	
	平 均	最 高	最 低	総 量	最大雨量
48年7月	26.6	33.5	23.5	388.4	174.7
〃 8	26.4	29.0	23.0	70.9	55.0
〃 9	19.2	29.0	11.6	283.7	60.5
〃 10	13.0	20.0	6.5	71.1	29.1
〃 11	7.8	17.5	0	3.1	2.6
〃 12	— 0.4	6.0	— 0.6	17.1	2.9
49年1月	— 0.5	10.0	— 0.5	24.7	23.0
〃 2	4.3	12.0	— 0.1	87.9	29.2
〃 3	8.3	16.0	3.0	75.5	25.4
〃 4	14.8	20.0	9.0	27.7	14.5
〃 5	20.9	25.5	15.0	19.8	16.0
〃 6	22.9	26.0	20.0	22.1	13.6

(資料・消防署調べ)

玉名市の面積

(S49. 1. 1)

区 分	宅 地	田	畑	池 沼	山 林	原 野	その他	計
面 積	5.34 ^{km²}	24.83	14.37	0.10	20.40	1.19	22.62	88.85
構 成 比	6.01 [%]	27.95	16.17	0.11	22.96	1.34	25.46	100.00

人 口

人 口 の 推 移

年 次	世 帯	男	女	計
大正 9年	5,872	15,083	16,350	31,433
大正14年	5,605	16,042	16,991	33,033
昭和 5年	6,267	16,516	17,926	34,442
〃 10年	6,433	16,769	18,099	34,868
〃 15年	6,180	15,596	18,415	34,011
〃 20年	8,836	21,686	24,261	45,947
〃 25年	8,862	22,101	24,385	46,486
〃 30年	9,501	23,296	25,727	49,023
〃 35年	9,820	22,459	25,277	47,736
〃 40年	10,315	21,221	24,077	45,298
〃 45年	10,611	19,824	22,857	42,681

(資料：国勢調査)

人 口 動 態

(単位：人)

区 分	総 数	自 然 動 態			社 会 動 態		
		出 生	死 亡	計	転 入	転 出	計
昭和45年	△ 789	572	451	121	2,175	3,085	△ 910
〃 46年	△ 200	559	384	175	2,528	2,903	△ 375
〃 47年	△ 96	607	356	251	2,400	2,747	△ 347
〃 48年	△ 24	640	355	285	2,428	2,737	△ 309
昭和四十八年 月別 状況	1月	21	53	41	12	171	162 9
	2月	△ 7	51	29	22	178	207 △ 29
	3月	△ 280	55	30	25	284	589 △ 305
	4月	△ 12	56	30	26	374	412 △ 38
	5月	22	65	36	29	203	210 △ 7
	6月	43	52	26	26	194	177 17
	7月	11	47	22	25	142	156 △ 14
	8月	114	62	21	41	232	159 73
	9月	16	49	20	29	156	169 △ 13
	10月	△ 7	56	31	25	188	220 △ 32
	11月	△ 19	40	33	7	127	153 △ 26
	12月	△ 74	54	36	18	179	123 △ 56

(資料：住民登録人口)

校 区 別 ・ 年 令 別 人 口

(昭和49年3月31日現在 単位：人)

区 分	0～9	10～14	15～19	20～24	25～29	30～34	35～39	40～44	45～49	50～54	55～59	60～69	70以上	合 計
玉 名 町	2,122	1,085	1,022	993	992	995	1,059	1,028	1,053	855	720	1,243	952	14,119
築 山	515	262	222	230	217	239	244	247	176	142	116	195	196	3,001
滑 石	582	370	340	317	256	254	336	313	307	243	221	338	248	4,125
大 浜	468	312	372	291	186	221	266	280	226	207	185	278	202	3,494
豊 水	217	114	107	123	115	82	104	111	109	81	86	154	114	1,517
伊 倉	667	351	347	342	339	301	315	337	283	255	236	366	284	4,423
八 嘉	651	237	240	304	318	263	269	204	246	209	159	292	213	3,605
梅 林	269	217	210	170	112	143	134	167	173	134	130	233	197	2,289
小 田	129	82	104	89	67	57	70	92	90	84	75	118	100	1,157
玉 名	248	147	138	141	120	120	128	148	134	114	93	187	171	1,889
石 貫	169	137	116	94	69	78	96	115	94	87	78	168	149	1,450
月 瀬	153	83	86	88	70	61	68	74	95	77	70	132	105	1,162
三 ツ	101	89	77	61	48	41	55	75	73	48	56	98	93	915
合 計	6,291	3,486	3,381	3,243	2,909	2,855	3,144	3,191	3,059	2,536	2,225	3,802	3,024	43,146

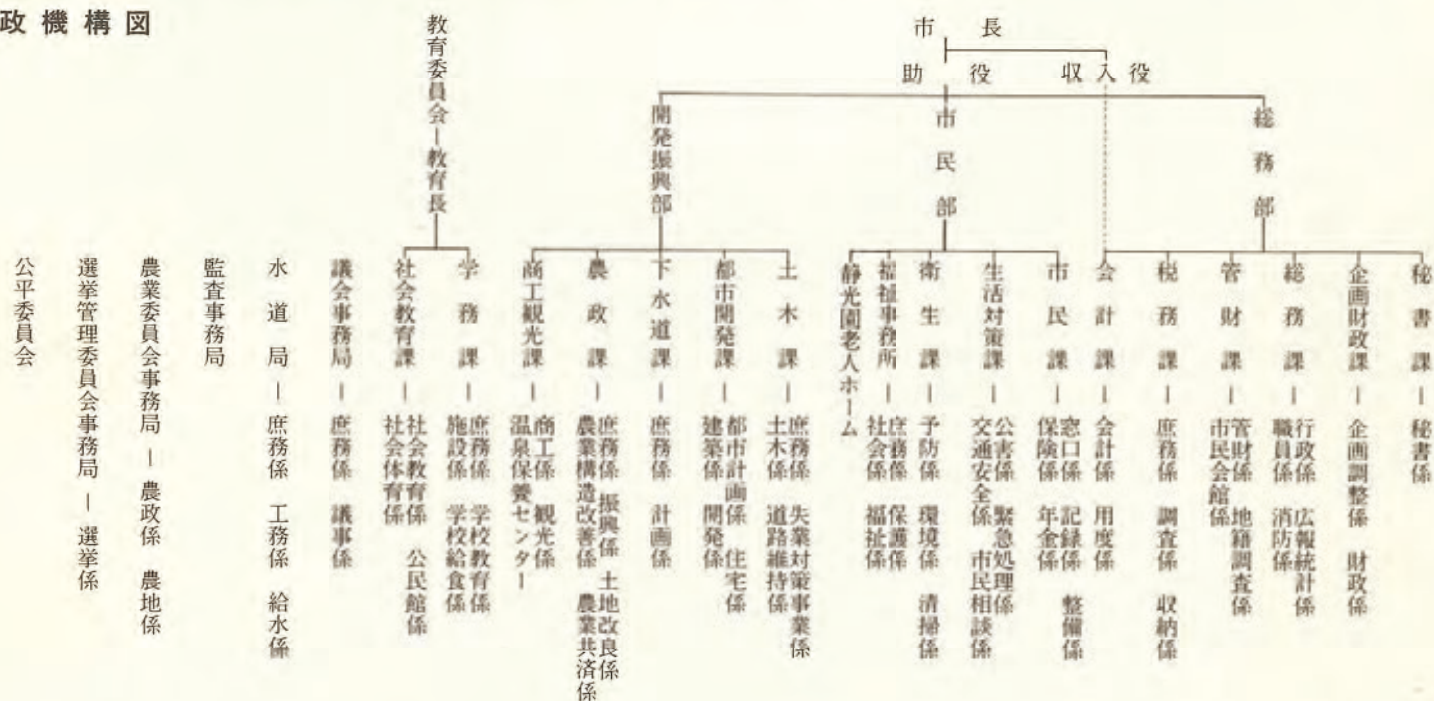
(資料：住民登録人口)

行政

歴代三役

市 長				助 役				収 入 役			
代次	氏 名	就任年月日	退任年月日	代次	氏 名	就任年月日	退任年月日	代次	氏 名	就任年月日	退任年月日
初代	橋本二郎	昭29. 4. 27	昭33. 4. 26	初代	吉田安二	昭29. 12. 27	昭33. 12. 26	初代	杉島 円	昭33. 5. 16	昭37. 5. 15
2代	橋本二郎	〃 33. 4. 27	〃 37. 4. 26	2代	吉田安二	〃 33. 12. 27	〃 37. 3. 3	2代	杉島 円	〃 37. 5. 16	〃 41. 5. 15
3代	橋本二郎	〃 37. 4. 27	〃 41. 4. 26	3代	三浦強助	〃 38. 4. 1	〃 41. 4. 26	3代	益田正弘	〃 41. 12. 21	〃 45. 12. 20
4代	川原弘海	〃 41. 4. 27	〃 45. 4. 26	4代	大石正己	〃 41. 12. 21	〃 45. 4. 27	4代	木下信之	〃 46. 6. 21	—
5代	橋本二郎	〃 45. 4. 27	〃 49. 4. 26		汐持正徳	〃 46. 7. 2	—				
6代	橋本二郎	〃 49. 4. 27	—								

行政機構図

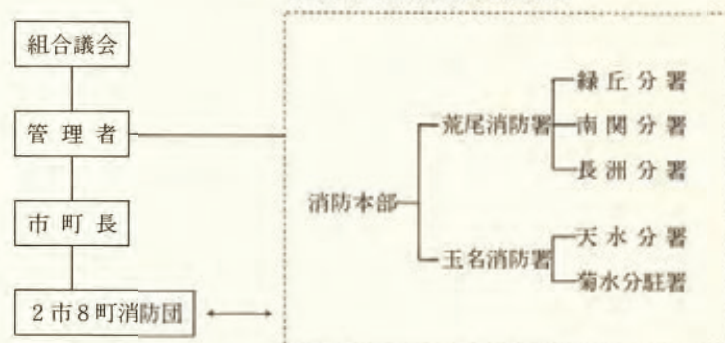


市職員数

(昭和49年4月1日現在)

区 分	総 数	吏 員	その他	定 数
市長 事務局	354	285	69	356
教育委員会事務局	19	17	2	20
議会事務局	6	6	0	6
水道事業事務局	13	10	3	17
監査委員会事務局	2	2	0	2
農業委員会事務局	8	8	0	9
選挙管理委員会事務局	4	3	1	4
公平委員会事務局	1	1	0	1
教育委員会の所属に関する職員	65	29	36	79
計	472	361	111	494

有明広域消防組合機構



歴代議長・副議長

議長			
代次	代 名	就 任 年 月 日	退 任 年 月 日
初代	猿渡 勲藏	昭和29年4月5日	昭和30年2月28日
2代	藏土 義任	昭和30年3月1日	昭和31年10月26日
3代	沼田 一	昭和31年10月27日	昭和34年2月28日
4代	藏土 義任	昭和34年3月5日	昭和36年3月9日
5代	藏土 義任	昭和36年3月10日	昭和38年3月7日
6代	藏土 義任	昭和38年3月8日	昭和40年3月7日
7代	藏土 義任	昭和40年3月10日	昭和41年7月2日
8代	中山新次郎	昭和41年8月29日	昭和45年8月9日
9代	黒田 孝	昭和45年8月19日	昭和49年8月9日
10代	田川 正義	昭和49年8月20日	—

副 議長			
代次	氏 名	就 任 年 月 日	退 任 年 月 日
初代	小山軍次郎	昭和29年4月5日	昭和30年2月28日
2代	安東 幹	昭和30年3月1日	昭和31年10月26日
3代	藏土 義任	昭和31年10月27日	昭和34年2月28日
4代	熊野 秀次	昭和34年3月5日	昭和36年3月9日
5代	熊野 秀次	昭和36年3月10日	昭和38年3月7日
6代	黒田 孝	昭和38年3月8日	昭和40年3月7日
7代	中山新次郎	昭和40年3月10日	昭和41年7月2日
8代	大磯 正人	昭和41年8月29日	昭和45年8月9日
9代	小山 幸男	昭和45年8月19日	昭和49年8月9日
10代	天木 利彦	昭和49年8月20日	—

常任委員会の構成

委員会	委員数	所 管
総務委員会	7人	秘書課、企画財政課、総務課 管財課、税務課、会計課 市民課、生活対策課、選挙管理委員会、監査委員 公平委員会
経済委員会	7人	農政課、商工観光課、管財課 農業委員会
建委員設会	6人	土木課、都市開発課、下水道課、生活対策課 水道局
文生教員厚会	6人	教育委員会、福祉事務所 衛生課、税務課、市民課 生活対策課

市議会議員名簿

○印は委員長（昭和49年9月1日現在満年令）

議席番号	氏 名	年令	常任委員会委員	備 考	議席番号	氏 名	年令	常任委員会委員	備 考	議席番号	氏 名	年令	常任委員会委員	備 考
1	徳永 信治	27	文 教 厚 生		10	山中 朝則	57	文 教 厚 生		19	松岡 洋治	40	経 済	
2	榎本 正一	42	経 済		11	坂本 又喜	58	建 設		20	松田 正藏	61	建 設	
3	黒田 雅晴	45	総 務		12	杉島 円	59	総 務		21	中島 隆徳	46	総 務	○
4	寺真 典仁	45	文 教 厚 生		13	迫丸 広海	60	経 済		22	森 国雄	53	文 教 厚 生	○
5	高木 満範	43	建 設		14	本村 順一	42	経 済	○	23	田川 正義	44	建 設	議長
6	吉田 喜徳	34	文 教 厚 生		15	徳永 忠雄	57	経 済		24	中山新次郎	57	総 務	
7	田代 俊男	49	経 済		16	木下 昭男	44	経 済		25	天木 利彦	51	文 教 厚 生	副議長
8	城戸 剛	42	建 設		17	石元 孝	52	総 務		26	大潮 勢一	53	建 設	○
9	高木 桂介	41	総 務		18	稲野 順二	60	総 務						

財政（一般会計）

歳 入

（単位：千円，％）

款 別	48 年 度 決 算 額	構 成 比	49 年 度 当初予算額	構 成 比
1 市 税	539,813	17.0	656,000	19.4
2 地 方 譲 与 税	15,738	0.5	28,500	0.8
3 自動車取得税交付金	21,166	0.7	35,000	1.0
4 地 方 交 付 税	1,002,173	31.6	981,000	29.0
5 交通安全対策特別交付金	4,722	0.1	4,722	0.1
6 分 担 金 負 担 金	13,615	0.4	49,881	1.5
7 使用料及手数料	60,545	1.9	34,392	1.0
8 国 庫 支 出 金	695,630	22.0	898,025	26.6
9 県 支 出 金	181,409	5.7	128,832	3.8
10 財 産 収 入	18,942	0.6	66,672	2.0
11 寄 附 金	4,183	0.1	3,416	0.1
12 繰 入 金	—	—	1	—
13 繰 越 金	55,458	1.8	20,000	0.6
14 諸 収 入	290,401	9.2	126,653	3.8
15 市 債	265,400	8.4	348,600	10.3
計	3,169,195	100.0	3,381,694	100.0

歳 出

（単位：千円，％）

款 別	48 年 度 決 算 額	構 成 比	49 年 度 当初予算額	構 成 比
1 議 会 費	46,728	1.5	56,886	1.7
2 総 務 費	505,658	16.4	443,972	13.1
3 民 生 費	818,036	26.5	958,314	28.4
4 衛 生 費	91,151	2.9	115,854	3.4
5 労 働 費	51,564	1.7	64,066	1.9
6 農 林 水 産 業 費	282,555	9.1	221,251	6.5
7 商 工 費	101,285	3.3	113,253	3.3
8 土 木 費	556,099	18.0	689,608	20.4
9 消 防 費	87,708	2.8	113,341	3.4
10 教 育 費	345,874	11.2	397,764	11.8
11 災 害 復 旧 費	37,658	1.2	9,033	0.3
12 公 債 費	167,567	5.4	193,351	5.7
13 諸 支 出 金	—	—	1	0
14 予 備 費	—	—	5,000	0.1
計	3,091,883	100.0	3,381,694	100.0

（資料：企画財政課）

昭和48年度性質別決算の状況（単位 千円：％）

性 質 別	決 算 額	構 成 比
人 件 費	843,106	27.3
物 件 費	140,498	4.5
維持補修費	25,817	0.8
扶助費	572,471	18.5
補助費等	169,063	5.5
公 債 費	167,295	5.4
投資及び出資金・貸付金	206,479	6.7
繰 出 金	53,091	1.1
投 資 的 経 費	954,063	30.2
普通建設事業	856,708	27.7
災害復旧事業	37,658	1.2
失業対策事業	39,697	1.3
合 計	3,091,883	100.0

昭和48年度市税の決算状況

税 目	調 定 額	決 算 額	市民1人当り 負担額
市 民 税	223,402 ^{千円}	218,850 ^{千円}	5,072 ^円
固 定 資 産 税	190,537	181,318	4,202
軽自動車税	19,780	18,696	433
たばこ消費税	62,466	62,466	1,448
電 気 ガ ス 税	33,553	33,553	778
鉱 産 税	76	76	1
木 材 引 取 税	33	13	—
特別土地保有税	970	970	22
入 湯 税	5,607	5,607	130
都 市 計 画 税	19,123	18,265	423

（注）過年分含む 人口は49年3月末現在43,146人

投票所別選挙人名簿登録人員

(昭和49年4月22日現在,単位:人)

投 票 場 所	男	女	計	備 考
第1 玉名商工会議所	733	917	1,650	玉名町
2 玉名第1保育所	887	1,174	2,061	〃
3 玉名町小学校	1,330	1,856	3,186	〃
4 南出公民館	1,345	1,591	2,936	〃
5 築山公民館	601	697	1,298	築山
6 山田公民館	305	371	676	〃
7 安楽寺	583	665	1,248	滑石
8 滑石小学校	497	571	1,068	〃
9 共和公民館	242	264	506	〃
10 大浜小学校	660	825	1,485	大浜
11 ちどり保育所	400	442	842	〃
12 豊水小学校	490	586	1,076	豊水

投 票 場 所	男	女	計	備 考
13 伊倉小学校	801	916	1,717	伊倉
14 光専寺	590	761	1,351	〃
15 八嘉児童館	730	806	1,536	八嘉
16 来顕寺	195	227	422	〃
17 田崎公民館	231	271	502	〃
18 梅林小学校	688	814	1,502	梅林
19 奥野公民館	42	46	88	〃
20 小田小学校	381	452	833	小田
21 玉名小学校	596	715	1,311	玉名
22 月瀬小学校	372	463	835	月瀬
23 石貫小学校	457	565	1,022	石貫
24 三ッ川小学校	286	364	650	三ッ川
計	13,442	16,359	29,801	

(資料:選挙管理委員会)

主要選挙投票状況

(単位:人)

区 分	当 日 有 権 者 数			投 票 者 数			備 考
	男	女	計	男	女	計	
参議院議員選	12,727	15,937	28,664	9,742	11,970	21,712	昭和43年7月7日
衆議院議員選	13,162	16,177	29,339	9,899	12,248	22,147	昭和44年12月27日
市長選	12,824	15,844	28,668	11,292	14,466	25,758	昭和45年4月20日
市議会議員選	12,867	15,978	28,845	11,590	14,846	26,436	昭和45年7月24日
県知事選	12,967	16,114	29,081	5,746	6,636	12,382	昭和46年1月31日
県議会議員選	12,905	16,082	28,987	10,300	13,085	23,385	昭和46年4月11日
参議院議員選	13,100	16,269	29,369	8,440	9,962	18,402	昭和46年6月27日
衆議院議員選	13,328	16,344	29,672	10,316	12,982	23,298	昭和47年12月10日
参議院議員選	13,569	16,489	30,058	11,206	13,857	25,063	昭和49年7月7日
市議会議員選	13,451	16,322	29,773	12,484	15,506	27,990	昭和49年7月26日

(資料:選挙管理委員会)

民 生

福祉年金給付状況

(単位：千円)

年 度	総 額	老 齢 福 祉	障 害 福 祉	母 子 福 祉
41	39,640	30,713	7,410	1,517
42	40,186	33,088	5,870	1,228
43	48,235	37,800	9,418	1,017
44	52,820	41,717	10,460	643
45	61,372	49,161	11,755	456
46	74,587	61,735	12,346	506
47	112,769	93,320	18,872	577
48	168,690	142,680	25,650	360

(資料：市民課)

国民年金加入支給状況

年 度	加 入 者 数			支 給 状 況 (件)					支 給 額	死 亡 一時金 件 数	支 給 額
	総 数	強 制	任 意	総数	老齢	障害	母子	遺児			
41	13,154 ^人	11,882 ^人	1,272 ^人	38 ^件	— ^件	6 ^件	74 ^件	8 ^件	5,110,200 ^円	29 ^件	181,000 ^円
42	13,538	12,068	1,470	133	—	17	77	9	6,014,400	26	174,000
43	13,805	12,249	1,556	111	—	27	79	5	6,670,800	28	190,000
44	13,887	12,067	1,820	135	—	34	97	4	8,133,600	26	176,000
45	14,319	11,831	2,488	155	—	39	111	5	15,052,800	40	344,000
46	13,904	11,774	2,130	343	178	50	110	5	27,287,267	42	508,000
47	14,365	12,132	2,233	520	345	63	108	4	35,535,473	31	378,000
48	14,247	11,966	2,281	660	490	62	106	2	100,675,454	42	545,500

(資料：市民課)

国民健康保険事業状況

年 度	加 入 状 況		療 養 諸 費						保 険 税	
	世 帯 数	被保険者数	件 数	費 用 額	保険者負担額	一世帯当り費用額	一人当り費用額	受 診 率	一世帯当り	一 人 当 り
41	7,309	30,837 ^人	120,337 ^件	248,948 ^{千円}	172,914 ^{千円}	34,060 ^円	8,073 ^円	382.90 [%]	8,571 ^円	2,031 ^円
42	7,310	29,975	128,323	286,216	198,864	39,154	9,549	419.70	11,816	2,881
43	7,455	28,427	127,003	344,747	239,633	46,243	12,127	437.20	13,774	3,612
44	7,515	27,944	127,735	377,816	263,663	50,274	13,520	447.00	15,073	4,053
45	7,520	27,208	123,220	413,819	288,087	55,029	15,209	442.00	15,426	4,260
46	7,460	26,244	126,376	459,062	323,791	61,536	17,492	470.50	14,565	4,140
47	7,407	25,503	129,379	548,312	390,182	74,026	21,500	495.30	16,523	4,799
48	7,369	24,098	140,683	712,399	490,808	96,675	28,844	557.63	18,010	5,267

(資料：市民課)

生活保護状況

年度	保護費支給状況	延世帯数	延人員	1人当り給付額
42	120,042 ^{千円}	5,658	14,297 ^人	8,396 ^円
43	141,053	5,724	13,496	10,451
44	157,771	5,631	12,670	12,452
45	183,689	5,600	12,203	15,052
46	227,514	6,120	13,052	17,431
47	315,038	6,636	13,573	23,210
48	360,476	6,709	13,267	27,170

(資料：福祉事務所)

福祉施設

(単位：人)

区分	経営主体	定員	職員数
保育所	市立	850	61
保育所	私立	130	14
児童館	市立	(60)	4
母子寮	市立	14	1
隣保館	市立	—	3
老人ホーム	市立	50	12

S48.11.1現在

(資料：福祉事務所)

医療衛生施設

保健所	病院				
	施設数	床			
1	4	結核	伝染病	一般	精神病
		66	30	47	331

診療所		歯科診療所	薬局	一般販売業	薬種商	特例販売業
施設数	病床数	15	10	5	6	1
40	355					

(資料：衛生課)

医療関係者数

(単位：人)

総数	医師	歯科医師	保健婦	助産婦
338	47	17	8	10

看護婦	整骨・ハリキウアンマ等	栄養士	薬剤師
133	84	13	26

(資料：衛生課)

法定伝染病発生状況

(単位：人)

区分	総数	コレラ	赤痢	腸チフス	ジフテリア	ペスト	日本脳炎
46年	5	—	4	—	1	—	—
47年	3	—	3	—	—	—	—

(資料：衛生課)

産業経済

産業別就業人口

(単位：人)

産業(大)分類	昭和 35 年		昭和 40 年		昭和 45 年	
	総 数	構成比	総 数	構成比	総 数	構成比
総 数	21,575	100.00	20,212	100.00	20,532	100.00
第 1 次 産 業	12,152	56.32	9,437	46.69	8,264	40.25
農 業	9,932	46.03	7,132	35.29	8,173	39.81
林業・狩猟業	21	0.10	6	0.03	3	0.01
漁業・水産養殖業	2,199	10.19	2,299	11.37	88	0.43
第 2 次 産 業	2,263	10.49	2,946	14.57	3,542	17.26
鉱 業	148	0.69	126	0.62	155	0.75
建 設 業	727	3.37	1,023	5.06	1,024	5.00
製 造 業	1,388	6.43	1,797	8.89	2,363	11.51

産業(大)分類	昭和 35 年		昭和 40 年		昭和 45 年	
	総 数	構成比	総 数	構成比	総 数	構成比
第 3 次 産 業	7,160	33.19	7,829	38.74	8,726	42.49
卸売業・小売業	2,938	13.62	2,930	14.50	3,230	15.73
金融保険業	247	1.14	278	1.38	292	1.42
不動産業	597	2.77	762	3.77	872	4.25
運輸通信および公益事業	597	2.77	762	3.77	872	4.25
電気・ガス水道業	108	0.50	103	0.51	97	0.47
サービス業	2,657	12.32	3,045	15.07	3,491	17.00
公 務	612	2.84	698	3.45	731	3.56
分類不能の産業	1	—	13	0.06	13	0.06

(資料：国勢調査)

事業所の概況

区 分		総 数	農 林 漁 業	鉱 業	建 設 業	製 造 業	卸・小売業	金 融 保 險 業	不動産業	運 輸 通 信 業	電気・ガス 水 道 業	サービス業
41年 {	事 業 所	1,716	1	2	59	104	942	30	5	35	2	536
	従 業 者	9,597	12	30	790	1,832	2,949	369	14	648	102	2,851
44年 {	事 業 所	1,785	9	5	82	111	956	20	4	34	4	560
	従 業 者	9,706	34	63	621	1,662	3,198	359	15	699	14	3,041
47年 {	事 業 所	2,114	11	2	101	122	1,152	38	31	46	2	609
	従 業 者	12,344	37	χ	971	2,470	3,923	534	58	781	χ	3,543

(資料：事業所統計調査)

農 業 の 概 況

年 次	農 家 数				農 家 人 口	経 営 耕 地 面 積			
	総 数	専 業	第 1 種 兼 業	第 2 種 兼 業		総 数	田	畑	樹 園 地
昭和40年	4,672 ^戸	1,294 ^戸	1,869 ^戸	1,509 ^戸	24,101 ^人	3,254 ^{ha}	2,266 ^{ha}	557 ^{ha}	431 ^{ha}
昭和45年	4,564	923	1,812	1,829	21,945	3,337	2,374	398	565

(資料：農業センサス)

経営耕地規模別農家数

(単位：戸)

区 分	総農家数	例外規定	0.3ヘクタール 未 満	0.3～ 0.5ヘクタール	0.5～0.7	0.7～1.0	1.0～1.5	1.5～2.0	2.0～2.5	2.5～3.0	3.0～5.0	5.0ヘクタール 以 上
昭和40年	4,672	8	1,040	744	690	1,047	901	195	41	6	—	—
昭和45年	4,564	22	980	722	648	928	927	247	70	13	6	1

(資料：農業センサス)

農用機械の所有農家数と台数

(単位：戸、台)

年 次	総 数		動 力 耕 転 機 農 用 ト ラ ク タ ー		動 力 噴 霧 機		動 力 散 粉 機		農 用 ト ラ ッ ク オ ー ト 三 輪	
	農 家 数	台 数	農 家 数	台 数	農 家 数	台 数	農 家 数	台 数	農 家 数	台 数
昭和40年	1,950	1,952	1,155	1,155	55	55	180	180	560	562
昭和45年	5,758	5,911	2,295	2,375	805	837	901	901	1,757	1,798

(資料：農林業センサス)

家畜飼養農家数と頭羽数

(単位：戸、頭羽数)

区 分	肉 用 牛		馬		豚		め ん 羊		や ぎ		に わ と り	
	農 家 数	頭 数	農 家 数	頭 数	農 家 数	頭 数	農 家 数	頭 数	農 家 数	頭 数	農 家 数	頭 数
昭和40年	1,913	1,990	12	12	115	596	8	8	102	108	1,540	75,422
昭和45年	977	1,323	3	3	109	1,935	4	4	56	57	548	88,337

(資料：農業センサス)

漁業区分別経営体数及び規模別漁船隻数

区 分	総 数	採捕のみ	養殖のみ	採 捕 と 養 殖		総 数	無動力船	船外機付船	動 力 船			
				採捕が主	養殖が主				総 数	5 ト ン 未 満		
										1トン未満	1 ～ 3	3 ～ 5
滑 石	586 ^戸	16	371	15	184	522 ^隻	73	431	18 ^隻	3	12	3
大 浜	486	25	313	7	141	439	145	264	30	6	19	5

(資料：第4次漁業センサス)

工 業 の 現 況

(単位：千円、%)

区 分	事 業 所 数			従 業 者 数			製 造 品 出 荷 額		
	47 年	46 年	45 年	47 年	46 年	45 年	47 年	46 年	45 年
総 数	116	116	115	2,452	2,433	2,026	1,200,759	827,541	711,254
食 糧 品	65	70	71	907	970	909	563,173	445,800	411,197
織 維	2	1	1	χ	χ	χ	χ	χ	χ
衣 服	2	2	1	χ	χ	χ	χ	χ	χ
木 材	3	4	5	29	30	33	9,937	7,364	12,478
パ ル プ	—	1	2	—	χ	χ	—	χ	χ
出版印刷	13	12	12	549	510	513	274,148	222,120	173,635
化 学	2	3	4	χ	20	51	χ	4,913	9,862
ゴム製品	1	1	—	χ	χ	—	χ	χ	—
窯業土石	17	13	9	276	238	100	50,539	26,742	182,210
金属製品	2	1	—	χ	χ	χ	χ	χ	χ
一般機械	2	2	1	χ	χ	χ	χ	χ	χ
輸送機器具	3	2	3	4	χ	3	359	χ	326
そ の 他	4	4	6	146	131	130	65,252	53,432	29,835

(資料：工業統計調査)

商 業 の 概 況

区 分	商 店 数		従 業 者		年 間 販 売 額(万円)	
	卸 売 業	小 売 業	卸 売 業	小 売 業	卸 売 業	小 売 業
昭和43年	50	757	462	2,166	285,603	559,248
昭和45年	55	830	398	2,631	747,917	667,167
昭和47年	62	840	522	2,545	480,302	857,683

(資料：商業統計調査)

運輸・通信

運 輸

(1日平均)

区 分	旅 客				貨 物 (トン)	
	玉 名 駅		肥 後 伊 倉 駅		玉 名 駅	
	乗 客	降 客	乗 客	降 客	発 信	到 着
昭和46年	3,314	2,799	640	540	92.4	151.6
昭和47年	3,293	3,008	598	546	91.6	183.2
昭和48年	3,038	2,801	608	553	91.8	252.0

※各年とも3月31日現在

(資料：玉名駅、肥後伊倉駅)

郵便物取扱状況

(1日平均件数)

区 分	年 賀 特 別 郵 便		普 通 郵 便		小 包 郵 便	
	発 信	着 信	発 信	着 信	発 信	着 信
昭和46年	817,127	824,845	8,847	8,047	97	122
昭和47年	768,000	830,000	4,961	7,544	94	97
昭和48年	732,000	814,000	5,481	8,837	97	117

※各年とも3月31日現在

(資料：玉名郵便局)

電話加入者数

(単位：台、件、度数)

区 分	合 計	加 入 電 話	公 衆 電 話	1 日 平 均 通 話	
				100番申込通話件数	ダイヤル通話度数
昭和46年	2,852	2,678	174	1,553	58,039
昭和47年	3,457	3,268	189	1,514	59,475
昭和48年	4,787	4,578	209	1,781	73,944

※各年とも3月31日現在

(資料：玉名電報電話局)

電 報 (47年度) (単位：件)

発 信	着 信
32,435	31,169

(資料：玉名電報電話局)

建設

市道及び橋梁の現況

(昭和48年4月1日現在)

区 分	道 路								橋 梁		
	8.5m 以上	6.5m 以上	5.5m 以上	4.5m 以上	3.5m 以上	2.5m 以上	1.5m 以上	合 計	永 久 橋	木 橋	合 計
延長 m	1,035	6,324	19,847	80,938	138,098	51,469	2,777	300,488	1,111	338	1,449
面積 m ²	9,065	42,998	115,539	387,878	533,176	155,886	5,554	1,250,096	4,163	1,090	5,253

市道舗装状況

(昭和48年4月1日現在)

総 延 長 (m)		総 面 積 (m ²)		舗 装 状 況				舗 装 率			
				舗 装 延 長 (m)		舗 装 面 積 (m ²)		舗 装 延 長 (%)		舗 装 面 積 (%)	
47 年 度	48 年 度	47 年 度	48 年 度	47 年 度	48 年 度	47 年 度	48 年 度	47 年 度	48 年 度	47 年 度	48 年 度
301,937	298,488	1,255,349	1,233,413	91,335	131,791	407,045	542,950	30.25	44.15	32.42	44.02

(資料：土木課)

公営住宅建設状況

(単位：戸)

区 分		40 年	41	42	43	44	45	46	47	計
木 造	1 種	60	—	—	—	—	—	—	—	60
	2 種	76	8	—	—	—	—	—	—	84
簡 耐	1 種	157	—	—	—	—	12	32	30	231
	2 種	124	—	—	—	—	16	16	16	172
合 計		417	8	—	—	—	28	48	46	547

(資料：管財課)

上 水 道

上 水 道

区 分	上 水 道					簡 易 水 道				
	44 年	45 年	46 年	47 年	48 年	44 年	45 年	46 年	47 年	48 年
給 水 戸 数	3,544	3,671	3,837	4,041	4,289	592	621	621	720	809
給 水 人 口	14,176	14,684	15,348	16,164	16,469	2,368	2,484	2,484	2,880	3,106
総 配 水 量(m³)	1,702,655	1,673,808	1,696,221	1,857,457	2,011,071	132,332	132,641	142,351	171,275	201,129
総 給 水 量(m³)	1,161,625	1,275,360	1,406,849	1,497,110	1,574,669	127,332	127,336	136,657	164,424	185,039
1 日平均配水量(m³)	4,665	4,586	4,647	5,089	5,509	362	363	390	469	551
1 日平均給水量(m³)	3,182	3,494	3,854	4,102	4,314	349	349	374	450	507
有 収 水 量(%)	68.2	71.6	82.9	80.6	78.3	96.2	96.0	96.0	96.0	92.0

(資料：水道局)

月別給水使用料

(昭和48年度 単位：立方米)

区 分	4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月	10 月	11 月	12 月	1 月	2 月	3 月	計
上 水 道	101,407	118,793	126,306	144,465	172,330	172,077	121,883	135,269	128,127	112,112	120,329	121,571	1,574,669
簡易水道	11,321	13,064	14,864	15,717	21,650	21,605	17,170	14,290	14,364	10,631	15,048	15,315	185,039

(資料：水道局)

学校数及び児童生徒数

(昭和49年5月1日)

区 分	校 数	教員数	学級数	児 童 生 徒 数			経営者別
				総 数	男	女	
小 学 校	13	177	134	3,935	2,096	1,839	公 立
中 学 校	4	101	57	2,170	1,091	1,079	＊
高等学校	2	135	58	2,451	1,171	1,280	＊
＊	1	61	26	1,268	—	1,268	私 立
幼 稚 園	3	25	17	498	246	252	＊
各種学校	5	48	9	393	73	320	＊
計	28	547	301	10,715	4,677	6,038	

(資料：学校基本調査)

中卒後の進路状況

(昭和49年5月1日 単位：人)

区 分	卒業者	進学者	公 立	私 立	高 専	就 職 状 況				
						県内(定時制)	県外(定時制)	自 営	各種学校	その他
45 年	773	638	348	288	2	43 (12)	66 (18)	2	14	10
46 年	739	606	346	259	1	48 (9)	51 (5)	3	19	12
47 年	808	702	423	277	2	45 (15)	33 (8)	3	11	14
48 年	787	711	431	278	2	29 (8)	17 (2)	6	12	12
49 年	753	697	402	291	4	6	5	8	14	23

(資料：学校基本調査)

高卒後の進路状況

(昭和49年5月1日 単位：人)

区 分	卒 業 者			進 学 者			就 職 者			就 職 進 学 者		
	男	女	計	男	女	計	男	女	計	男	女	計
玉 名 高 校	277	255	532	110	108	218	30	84	114	0	3	3
玉名農業高校	116	168	284	3	18	21	108	136	244	0	0	0
玉名女子高校	—	453	453	—	27	27	—	361	361	—	8	8

※定時制含む

(資料：学校基本調査)

社会教育関係学級実施状況 (昭和48年度)

学 級 別	学 級 数	学級生数	実施延時間
青 年 学 級	11	330	440
婦 人 学 級	13	650	182
家庭教育学級	13	850	170

(資料：社会教育課)

社会教育関係団体活動状況 (昭和48年度 単位：人)

団 体 名	青年団体	婦人団体	成人団体	少年団体	そ の 他
会 員 数	350	4,500	6,500	3,000	—
事業回数	15	15	9	7	29
参加者数	1,500	3,000	2,500	1,500	12,200

(資料：社会教育課)

市民会館利用状況

(昭和48年度 単位：回)

区 分	ホー ル	第1会議室	第2会議室	第3会議室	第1和室	第2和室	結婚式場	料理室	計
総 数	82	171	176	79	114	145	203	32	1,002
4 月	13	7	16	6	5	4	30	4	85
5 月	6	21	21	5	3	16	14	6	92
6 月	4	21	13	1	6	21	6	4	76
7 月	4	21	18	5	13	4	2	4	71
8 月	6	18	23	12	32	6	—	3	100
9 月	5	16	15	7	6	18	8	—	75
10 月	8	9	5	3	3	19	40	—	87
11 月	13	18	14	8	12	15	24	2	106
12 月	9	8	13	12	5	13	19	3	82
1 月	2	19	10	7	9	5	8	2	62
2 月	5	7	13	5	9	11	19	1	70
3 月	7	6	15	8	11	13	33	3	96

(資料：市民会館)

玉名市重要文化財一覧表

種 別	名 称	指定
書 籍	広福寺古文書	国
史 跡	ナギノ横穴古墳群	〃
〃	穴 観 音 横 穴	〃
〃	大 坊 古 墳	県
〃	永安寺東古墳	〃
〃	永安寺西古墳	〃
天然記念物	舟つなぎの銀杏	〃
〃	山 田 の 藤	〃
工 芸	肥後同田貫上野介十代嫡孫延寿太郎宗広	1 振 〃
〃	廻 船 模 型	1 隻 市
〃	小代焼竹筥模様筒型水差	1 個 〃
〃	小代焼流釉茶碗	1 個 〃
〃	小代焼梅模様四脚盃洗	1 個 〃
〃	九州肥後同田貫上野介	1 振 〃
〃	肥後同田貫宗広	1 振 〃
〃	伊倉北八幡宮麒麟香炉	1 対 〃
〃	肥後四位官郭公墓出土青磁碗	1 個 〃
絵 画	絵 馬 (大 浜 港)	1 面 〃
〃	僧豪潮筆水墨絵座具	1 枚 〃
〃	僧豪潮画併題文殊菩薩画像	1 卷 〃
書 跡	僧豪潮筆紺紙金泥仏説阿弥陀経	1 卷 〃
〃	僧豪潮筆六曲屏風	半双 〃
〃	大 平 寺 文 書	1 卷 (3 通) 〃
〃	豪潮墨跡宝篋印陀羅尼经文	1 幅 〃
〃	紙本墨書大智仏法僧一行書	1 幅 〃
彫 刻	聖観世音菩薩木像	1 軀 〃
〃	脱乾漆造釈迦三尊像	3 軀 〃
〃	木造地藏菩薩半加像	1 軀 〃
史 跡	高 麗 犬	1 対 2 基 〃
〃	吉 利 支 丹 墓 碑	1 基 〃

種 別	名 称	指定
史 跡	繁根本補陀落渡海碑	1 基 市
〃	宇 佐 公 満 墓	1 基 〃
〃	宇佐大宮司公長逆修塔	1 基 〃
〃	伊倉保一方地頭沙弥行惠供養塔	1 基 〃
〃	肥後四位官郭公墓	1 基 〃
〃	宝 篋 院 塔	1 基 〃
〃	高 瀬 目 鏡 橋	〃
〃	玉名郡倉址推定地	〃
〃	青木磨崖梵字群	〃
〃	建 長 の 塔	1 基 〃
〃	伝 左 山 古 墳	〃
〃	宝成就寺跡古塔碑群石仏群	1 括 〃
考 古	大坊古墳出土品	1 括 〃
〃	浄光寺蓮華院跡出土鎮壇具及び古瓦	〃
考古・史跡	小路古墳付出土品	1 括 〃
考 古	馬出古墳出土品	1 括 〃
民族資料	梅林菅原神社「流鎗馬」	〃
〃	築 山 花 棒 踊 り	〃
天然記念物	伊倉八幡宮の大楠	1 本 〃
〃	伊倉八幡宮のなぎ	1 本 〃
史 跡	廻船用鍛鉄製錨	1 個 〃
彫 刻	清源寺釈迦如来座像, 木造多聞天立像	各 1 軀 〃
〃	清源寺六観音木像釈迦如来座像	7 軀 〃

(資料：社会教育課)

公安・消防

刑法犯発生状況

(昭和47年,単位:件)

区分	窃盗	傷害	暴行	詐欺	横領	恐喝	その他	計
合計	423	29	24	24	1	2	19	522
1月	31	3	1	—	1	—	2	38
2月	37	1	3	2	—	—	1	44
3月	49	2	2	3	—	—	1	57
4月	27	1	2	1	—	—	4	35
5月	38	1	5	4	—	1	2	51
6月	36	2	3	4	—	—	—	45
7月	34	1	2	1	—	—	1	39
8月	28	7	—	1	—	—	3	39
9月	28	3	2	2	—	—	2	37
10月	31	5	3	—	—	1	1	41
11月	49	3	1	2	—	—	1	56
12月	35	—	—	4	—	—	1	40

(資料:玉名警察署)

原因別火災事故件数

原因別	件数
油類の引火	2
電気器具	2
ガス器具	0
電気コタツ	0
焚火	1
火遊び	3
タバコ	4
煙突煙道	2
ローソクの火消し忘	0
放火	1
不明	2
焼却の火	10
その他	3
計	30

(昭和48年 資料:消防署)

警察(玉名署管内) (昭和49年4月現在,単位:人)

管内合計	玉名署	事務	市内駐在所	市外駐在所
119	89	8	6	16

(資料:玉名警察署)

消防(玉名消防署)

(昭和49年11月1日現在,単位:人,台)

玉名消防署	消防団	広報車	救急車	タンク車	ポンプ車	可搬式動力ポンプ	小型動力ポンプ車
49人	834人	1台	2台	1台	2台	44台	12台

(資料:消防署)

火災発生件数

区分 件数	建物	林野	車輦	その他
30	10	7	5	8

(資料:消防署)

市民生活市民所得推計（昭和47年度）

生産所得

（単位：千円）

	所得額	構成比
第1次産業	2,665,354	13.5
農業	2,246,831	11.4
林業・狩猟業	42,890	0.2
漁業・水産養殖業	375,633	1.9
第2次産業	5,520,618	28.0
鉱業	124,488	0.6
建設業	1,810,926	9.2
製造業	3,585,204	18.2
第3次産業	11,512,121	58.5
卸・小売業	2,205,554	11.2
金融・保険・不動産業	1,688,460	8.6
運輸・通信業	1,255,550	6.4
電気・ガス・水道業	261,587	1.3
サービス業	4,590,038	23.3
公務	1,510,932	7.7
市内純生産額	19,698,093	100.0

個人所得

（単位：千円）

	所得額	構成比
雇用者所得	10,709,111	52.4
個人業主所得	5,536,336	27.1
個人財産所得	2,160,011	10.6
法人企業から個人への移転	30,867	0.2
（控除）消費者負債利子	25,860	0.1
財政から個人への移転	1,890,652	9.3
市外から個人への移転	130,800	0.6
個人所得	20,483,637	100.0

分配所得

（単位：千円）

	所得額	構成比
雇用者所得	10,709,111	54.6
賃金・俸給	9,459,095	48.2
その他の給与および手当	613,419	3.1
社会保険料雇主負担	636,597	3.2
個人業主所得	5,536,336	28.2
農林・水産業	2,538,607	12.9
その他	2,997,729	15.3
個人財産所得	2,160,011	11.0
賃貸料	861,061	4.4
利子	1,207,384	6.2
配当	91,566	0.5
法人企業から個人への移転	30,867	0.2
法人税及び税外負担	635,721	3.2
法人留保	776,366	4.0
財政の事業所得及び財産所得	△ 22,810	△ 0.1
国営企業余剰	△ 90,527	△ 0.5
賃貸料・利子及び配当	67,717	0.3
（控除）一般財政負債利子	170,351	0.9
（控除）消費者負債利子	25,860	0.1
市民所得	19,629,391	100.0
（参考）法人所得	1,525,755	7.8



主要官公庁

名 称	所在地	電 話
国 の 機 関		
熊本地方裁判所玉名支部	繁根木	2-3037
熊本地方簡易裁判所玉名支部	〃	2-2384
熊本家庭裁判所玉名支部	〃	2-2384
熊本地方法務局玉名支局	〃	2-2347
玉 名 区 検 察 庁	〃	2-2373
玉 名 税 務 署	〃	2-2125
玉名労働基準監督署	中	2-2005
玉名公共職業安定所	〃	2-4154
日本専売公社玉名出張所	〃	2-5177
玉名海岸保全事務所	〃	2-3185
建設省菊池川工事事務所玉名出張所	津 留	2-2314
玉名社会保険事務所	中	2-3129
熊本食糧事務所玉名支所	玉 名	2-4103
県 の 機 関		
熊本県玉名事務所	繁根木	2-2004
熊本県教育庁玉名出張所	〃	2-2374
熊本県玉名蚕業指導所	〃	2-2385
熊本県玉名土木事務所	中	3-2105
熊本県玉名保健所	〃	2-2184
熊本県玉名平野水利開発事務所	〃	2-5167
熊本県玉名農業改良普及所	玉 名	2-5164
熊本県養鶏試験場	伊倉北方	2-2801
玉 名 警 察 署	繁根木	2-2171
熊本県立玉名高等学校	中	3-2101
熊本県立玉名農業高等学校	立願寺	3-2123
市 の 機 関		
玉 名 市 役 所	繁根木	3-2111
水 道 局	玉 名	2-2105
水道水源池	溝ノ上	2-3332

名 称	所在地	電 話
市 民 会 館	岩 崎	2-2387
明 治 記 念 館	〃	3-5805
温 泉 セ ン タ ー	〃	3-2087
福 祉 セ ン タ ー	立願寺	2-2395
老 人 福 祉 セ ン タ ー	〃	2-2395
静 光 園	〃	2-2395
伊 倉 隣 保 館	伊倉北方	2-3355
屠 畜 場	〃	3-5813
し 尿 処 理 場	繁根木	3-5841
第 1 学 校 給 食 共 同 調 理 場	玉 名	2-2532
第 2 学 校 給 食 共 同 調 理 場	大 浜	2-2279
玉 名 市 立 玉 名 中 学 校	中 尾	2-4191
玉 名 市 立 玉 陵 中 学 校	玉 名	2-2597
玉 名 市 立 玉 南 中 学 校	伊倉北方	2-3354
玉 名 市 立 大 豊 中 学 校	大 浜	2-2677
玉 名 市 立 玉 名 町 小 学 校	岩 崎	2-4195
玉 名 市 立 築 山 小 学 校	築 地	2-3328
玉 名 市 立 滑 石 小 学 校	滑 石	2-3349
玉 名 市 立 大 浜 小 学 校	大 浜	2-3311
玉 名 市 立 豊 永 小 学 校	小 野 尻	2-3309
玉 名 市 立 伊 倉 小 学 校	宮 原	2-3417
玉 名 市 立 八 嘉 小 学 校	田 崎	2-2602
玉 名 市 立 梅 林 小 学 校	安 楽 寺	2-3635
玉 名 市 立 小 田 小 学 校	上 小 田	2-3314
玉 名 市 立 玉 名 小 学 校	玉 名	2-3319
玉 名 市 立 石 貫 小 学 校	石 貫	2-3226
玉 名 市 立 月 瀬 小 学 校	溝 上	2-3228
玉 名 市 立 三 ツ 川 小 学 校	三 ツ 川	2-3227
玉 名 市 立 第 1 保 育 所	繁根木	2-3032
玉 名 市 立 第 2 保 育 所	中	2-3277

名	称	所在地	電 話
玉 名 市 立 第 3 保 育 所		高 瀬	2-3348
玉 名 市 立 滑 石 保 育 所		滑 石	有535-18
玉 名 市 立 ち どり 保 育 所		大 浜	有623-14
玉 名 市 立 豊 水 保 育 所		小 野 尻	2-3308
玉 名 市 立 伊 倉 保 育 所		伊倉北方	有742-22
玉 名 市 立 八 嘉 児 童 館		大 倉	有854-16
玉 名 市 立 梅 林 保 育 所		安 楽 寺	有159-15
運 輸 通 信 機 関			
玉 名 駅		中	3-5855
肥 後 伊 倉 駅		伊倉北方	3-5835
国 鉄 玉 名 電 力 区		中	2-3931
国 鉄 玉 名 保 線 区		〃	3-5847
玉 名 電 報 電 話 局		繁 根 木	2-4171
玉 名 郵 便 局		中	2-2280
玉 名 高 瀬 郵 便 局		高 瀬	2-4528
玉 名 温 泉 郵 便 局		立 願 寺	3-2733
築 地 簡 易 郵 便 局		築 地	2-4245
滑 石 郵 便 局		滑 石	2-2736
大 浜 郵 便 局		大 浜	3-2737
大 浜 末 広 簡 易 郵 便 局		〃	3-3867
伊 倉 郵 便 局		伊倉北方	3-2739
玉 名 大 倉 郵 便 局		大 倉	3-2735
小 田 簡 易 郵 便 局		上 小 田	3-3998
玉 名 迫 間 郵 便 局		両 迫 間	3-2734
石 貫 簡 易 郵 便 局		石 貫	2-5942
月 瀬 簡 易 郵 便 局		溝 上	3-3997
米 富 郵 便 局		三 ツ 川	3-2738
金 融 機 関			
肥 後 銀 行 玉 名 支 店		高 瀬	3-2151
熊 本 相 互 銀 行 玉 名 支 店		〃	2-3124

名	称	所在地	電 話
熊 本 中 央 信 用 金 庫 玉 名 支 店		高 瀬	3-3151
肥 後 相 互 銀 行 玉 名 支 店		繁 根 木	3-3144
旭 相 互 銀 行 玉 名 支 店		〃	2-3164
報 道 機 関			
熊 本 日 日 新 聞 城 北 総 局		中	3-3078
毎 日 新 聞 玉 名 支 局		立 願 寺	2-3024
西 日 本 新 聞 玉 名 支 局		〃	2-3021
読 売 新 聞 玉 名 通 信 局		高 瀬	2-3392
朝 日 新 聞 玉 名 通 信 局		〃	2-2747
玉 名 有 線 放 送		繁 根 木	2-4135
そ の 他 の 機 関			
玉 名 商 工 会 議 所		高 瀬	2-3106
玉 名 農 業 協 同 組 合		中	2-3191
大 浜 町 農 業 協 同 組 合		大 浜	3-2221
伊 倉 町 農 業 協 同 組 合		宮 原	3-3232
滑 石 漁 業 協 同 組 合		滑 石	2-3511
大 浜 町 漁 業 協 同 組 合		大 浜	2-2338
玉 名 商 業 協 同 組 合		高 瀬	2-2592
伊 倉 町 農 業 協 同 組 合 選 果 場		宮 原	2-4917
熊 本 県 農 業 共 済 組 合 連 合 会 玉 名 支 所		中	2-2592
熊 本 県 経 済 連 種 鶏 場		玉 名	2-3570
熊 本 県 経 済 連 玉 名 支 所		中	3-2128
熊 本 県 農 協 中 央 会		〃	2-3060
玉 名 郡 市 医 師 会		大 坊	2-2797
玉 名 郡 町 村 会		繁 根 木	2-2340
玉 名 平 野 土 地 改 良 区		千 田 川 原	2-2329
玉 名 酪 農 協 同 組 合		中	2-5114
玉 名 畜 産 協 同 組 合		〃	2-2044
玉 名 女 子 高 等 学 校		岩 崎	2-5161

あ　と　が　き

この市勢要覧は市制20周年を記念として市の姿を広く紹介する目的をもって編集しました。

とくに要覧は昭和41年版以来の発刊でその間各方面にごめいわくをおかけしましたこととお詫びします。

編集にあたっては玉名市の姿を親しんでご理解いただくため多くの写真を紹介するとともに、統計表は資料編でまとめることにしました。

なにぶん編集が未熟で不備な点が種々あると思われていますが、ご高覧の二各位のご批判、ご指導を戴ければ幸いです。

なお編集にあたり各方面から貴重な資料や写真の提供をはじめ、数々のご苦勞を戴きましたことに対し厚くお礼申し上げます。

昭和50年3月

発行 玉名市役所

編集 玉名市総務部総務課

印刷 株式会社 有明印刷

